

鉄道ピクトリアル

2016年12月号 Vol.66 No.12 通巻No.925

<特集> キハ40系(Ⅱ)

■表 紙 山陰本線のキハ47 岩永伸一

餘部 2014-3-22

■グラフ

黄昏のディーゼルカー (1~9ページ)

岡本文彦・与野正樹・尾崎 渉・富村哲男・岩永伸一

渡邊裕太郎・山中 茂・新山真吾・三島達夫・田村 宏

..... 小野啓一・安保 優・金子 聰・戸塚光弘・加藤和毅

・松浦広明・早川昭文・森 友紀・赤座安彦・浜村正弘

森田 宏・山口 徹・眼目佳秀・白井明王

キハ40系カラーバリエーション全128色(後編) (10~15ページ)

..... 構成: 藤田吾郎

JR東海のキハ40系 (16ページ) 岡本文彦・山中 茂・井上英樹

多彩なキハ40系観光列車 (101~105ページ)

..... 佐藤利生・石原裕紀・成瀬伸夫・瀬良正憲・白土洋次ほか

*

キハ40系気動車形式集(2) 構成: 平石大貴 34

キハ40系 初期車と後期車の形態変化を読み解く

..... 構成: 編集部 54

*

「東武鉄道C11 207の火入れ式を開催／東武鉄道総合教育訓練センターを報道公開／JR四国12・14系客車を東武へ向けて甲種輸送／東京メトロ・東武ほか鉄道・物流5社共同物流実証実験を実施／カープ優勝！広島の電車もお祝いモード」

106~109

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) 110

2016 越中おわら風の盆 臨時列車の話題 杉下 浩生 118

■本文

今月の話題: キハ40系(Ⅱ) 編集部 17

キハ40・48, DLからハイブリッド車まで

JR東日本秋田総合車両センターの内燃車検修職場を見る

..... 服部 朗宏 18

キハ40系気動車のあゆみ(2) 平石 大貴 58

多数派形式に潜む“珍車”を求めて

キハ40系の個性派車両めぐり—東日本編— 西脇 浩二 87

私鉄へ譲渡されたキハ40系 藤村 史隆 96

*

絵葉書のなかの国鉄ローカル線(22) 手宮線 白土 貞夫 94

鉄道の話題 編集部 100

名古屋鉄道 近年の車両動向 川口 順平 120

ミャンマーを走る日本型車両2016 斎藤 幹雄 129

9月のメモ帳 136

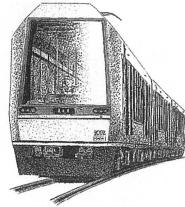
読者短信・情報ファイル 137

後部車から 141

〔特別付録〕キハ40系車歴表 鉄道友の会客車気動車研究会編 他 (CD-R)

ISSN0040-4047

Tetsudō piktoriaru



カット: 山本茂樹

今月の話題

キハ40系(Ⅱ)

国鉄時代の1977(昭和52)年に非電化ローカル線の近代化を担ってデビューしたキハ40系は、5年間で888両が全国各地に投入された。約10年にわたる国鉄の時代には、軽微な改造や一部で地域密着の施策から塗装変更が行われた程度で推移し、キハ10系、20系などに代わって一般形気動車の主力として成長していった。1987(昭和62)年のJR各社発足時には当時の国鉄在籍車887両全車が継承された。内訳はJR北海道157両、JR東日本219両、JR東海59両、JR西日本257両、JR四国53両、JR九州142両である。ただし、キハ40系自体のシステムは従来の国鉄標準タイプを踏襲したものであり、1980年代は効率の良いシステム開発が推進され、新技術の機関を搭載した次世代の気動車像が出現し始め、その結果キハ40系は新製から時を経ずして、華々しいイメージからは若干かけ離れた存在となっていました。

気動車をめぐる変革の流れは、JR各社の発足後、その勢いはさらに増して、輸送需要に見合った効率性を發揮する新形の一般形気動車が相次いで登場するようになっていった。こうした中でキハ40系の多くは、JRそれぞれの方針に基づき新たな機関・変速機への換装が進められて、走行システムを一新するとともに、各社、各地域毎の新塗装が出現するなど、変貌を遂げることとなり、車号変更による番代区分はきわめて複雑なものとなっていました。さらに、各地で多彩な観光列車が考案されるようになると、その改造種車としてキハ40系が選定されることが多くなり、同一系列としては屈指のバリエーションを持つ車両となつた。とはいえ、デビューから間もなく40年、経年も増してすでにJR東海からは形式消滅しており、他のJRでも廃車が進んでいる状況である。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan